

## 【イベント名】

**令和7年度いきいきキャリアスタート事業****宮城県小牛田農林高等学校**

## 【開催概要】

開催日

令和7年12月8日（月） 9:55～11:45

時間

場所

参加人数

宮城県小牛田  
農林高等学校

1年生 190名

主催 宮城県 共催 宮城県小牛田農林高等学校

## プログラム

09:55～	<b>流れの説明</b> （5分） 宮城県小牛田農林高等学校
10:00～	<b>第一部「男女共同参画 基礎講座」</b> （20分） 宮城県環境生活部 共同参画社会推進課 男女共同参画推進専門監 大沼 史柄
10:20～	<b>第二部「ゲストトーク」</b> （25分） 宮城県東部地方振興事務所 技師 平 龍之輔さん 登米市迫総合支所市民課 保健師 千葉 笑美花さん ファシリテーター NEXT-STAGE 代表 大高 智佳子さん
10:45～	休憩（10分）
10:55～	<b>第三部「ワークショップ」</b> （50分） ※各クラス（1組～5組）
11:45	アンケート回答後、終了

## 第一部「男女共同参画基礎講座」

宮城県環境生活部 共同参画社会推進課  
男女共同参画推進専門監 大沼 史柄

就職後の生活を見据えると、ワークライフバランスが重要である。ワークライフバランスとは仕事と生活の調和であり、私生活の充実が仕事の質の向上にもつながると伝えた。データから、日本では女性が結婚・出産期に就業や正規雇用を離れやすく、男性は長時間労働により家事・育児への参加が少ない現状が示され、その背景に性別によるアンコンシャス・バイアスがあると指摘した。

男女共同参画社会とは、性別に関係なく誰もが意欲に応じて活躍できる社会、国や県では育児休業制度の拡充や、女性活躍・両立支援に取り組む企業認証制度を整備しており、将来の進路選択ではこうした視点を持つことが大切だと伝えた。

## 第二部「ゲストトーク」

## &lt;卒業生ゲスト：宮城県東部地方振興事務所 技師 平 龍之輔さん・登米市迫総合支所市民課 保健師 千葉 笑美花さん&gt;

## ○ 進路選択のきっかけ

（平さん）中学時代、震災復興に携わる土木作業員を見て憧れを持った。高校2年で「公務員」という選択肢を知り、進路を変更し夏休みに集中して勉強、先生方のサポートを受けて合格した。安定した職業で家庭を支えたいという思いも進路決定の要因。

（千葉さん）小学生時代、祖父の入院で看護師の姿に感銘を受け、医療職を志望。高校1年終わり頃から進路を意識し、大学進学を決断。地域住民の健康を守りたいと思い、保健師を選択した。先生方の助言を受けながら大学を決定。

## ○ ワークライフバランス

（平さん）業務外のことにも積極的に挑戦し、経験値を積む姿勢を大事にしている。実際の仕事は現場よりも事務作業が多く、イメージとのギャップがある。家事は夫婦で分担し、「できる方がやる」という考え方。仕事とプライベートを明確に分けている。

（千葉さん）地域住民との交流を重視し、体験を通じて成長できていると感じている。職場は女性が多く、子育て世代を支える体制が整っている。休日は休養と気分転換を意識してメリハリをつけている。

## ○ 職場環境と価値観

（平さん）有休取得に関して世代間で意識の差があるが、若手は積極的に休みを取る傾向。

（千葉さん）保健師の職場は女性が多く、子育て支援の文化が根付いている。男女の役割にどうわざず「人と人として協力する」姿勢が重要だと思う。

## 《後輩へのメッセージ》

（平さん）どんな経験も必ず将来につながる。学校生活でもプライベートでも多くの挑戦を。

（千葉さん）高校生活はあっという間。部活動や受験で得た経験は社会人になっても力になる。周囲の支えを受けながら充実した高校生活を送ってほしい。



## 第三部「ワークショップ」

各クラスにファシリテーターを配置し、ワークシートに記入、班ごとに意見交換を行った。

第一部の男女共同参画基礎講座と、第二部のゲストトークを聞いての感想や、将来のことについてもそれぞれ記入した。

## 《生徒の感想》

## ●男女共同参画を進める上で、どのような取り組みが必要だと思いますか。

・見た目ではなく仕事の出来や適材適所で考える。

## ●ゲストトークの感想

・二人の話を聞き、私も今から将来のために勉強して準備していきたいと思った。

## ●ワークショップの感想

・あまり明確にできていなかつたなりたい職業や、やりたい事を少しでも明確にすることことができたと思う。

・違う人たちの意見や自分が気が付かなかったことに気付けて、いい時間になった。

